



2016/12/1 厚生館保育園

11月24日は54年ぶりの雪で、窓の景色を見ながら子ども達は大喜びをしていました。一方、大人たちは、「早くやまないかな」と、心の声……。

いよいよ12月「冬将軍」がやってくる時期ですね。冬将軍とは、昔、ロシアへ攻め入った諸外国が、何度もロシアの厳しい寒さによって敗退してきたことから生まれた言葉だそうです。冬将軍に負けないよう万全の状態を迎え撃ちましょう。

11月の感染症

インフルエンザA：1名 溶連菌感染症：4名 感染性胃腸炎：5名
感染が広がることはなくすぐに収束に向かいました。



感染症サーベイランスによると、インフルエンザは毎年度より早い時期に流行しだしており、都内でインフルエンザ、溶連菌感染症、感染性胃腸炎、おたふくかぜの感染が数十名から数百名確認されています。

手洗い、うがい、咳エチケットを励行し、早寝・早起き・朝ごはんを心掛け感染を予防しましょう。

・・・感染性胃腸炎が猛威を奮っています・・・

1 感染性胃腸炎とは？

主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。

原因となるウイルスは、「ノロウイルス」「ロタウイルス」「サポウイルス」「アデノウイルス」などがあり、症状は腹痛・下痢・嘔吐・発熱です。「ロタウイルス」「アデノウイルス」による胃腸炎は、乳幼児に多くみられます。

ノロウイルス・ロタウイルスによる感染性胃腸炎

1～2日の潜伏期間を経て、典型的には、吐き気・嘔吐・下痢・腹痛と37℃台の発熱が見られます（症状の程度には個人差があります）。ノロウイルスを原因とする場合、症状が続く期間は1～2日と短期ですが、ロタウイルスを原因とする場合は5～6日持続することがあります。また、ロタウイルスによる胃腸炎の場合、便が白色になることもあります。

2 原因と感染経路

ノロウイルス・ロタウイルスなどのウイルスは、人の手などを介して口に入った時に感染する可能性があります。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、ヒトからヒトへの感染と汚染した食品を介しておこる食中毒に分けられ、次のような感染経路があります。

- ◆感染した人の便や吐物に触れた手指を介してウイルスが口に入った場合
- ◆便や吐物が乾燥して、細かな塵となり舞い上がり、その塵と一緒にウイルスを体内に取り込んだ場合
- ◆感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合
- ◆ウイルスを体内に取り込んだ、カキやシジミなどの二枚貝を生または、不十分な加熱処理で食べた場合

3 感染性胃腸炎の治療

ウイルスを原因とする感染性胃腸炎への特別な治療法はなく、辛い症状を軽減するための（対症療法）がおこなわれます。乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので早めに医療機関に受診することが大切です。

嘔吐の症状が治まったら少しずつ（おちょこ1杯）水分を補給し、安静に努め回復期には消化しやすい食事をとるようにしましょう。

4 下痢の時の飲み物

水分だけでなく塩分もいっしょに補う必要があります。

塩分（Na）濃さがおよそ 40（mEq／l）以上の飲み物をお勧めします。

◎お勧めします

オーエスワ（50）、アクアライト OSR（35）、みそ汁、スープ

○市販のイオン飲料（塩ひとつまみ足しましょう）

アクアライトりんご・白ぶどう（30）、明治赤ちゃんにやさしいイオン飲料（30）
ピジョンイオン飲料（30）、森永イオン飲料もも・りんご、煮野菜

×お勧めしません

ポカリスエット（21）、アクエリアス（15）、その他のスポーツ飲料やコーラ（9～23）、お茶、お水

12月の保健行事

- 2日（金）地域・2～5才児身体測定
- 8日（木）身体測定（0,1）
- 9日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 16日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 19日（月）地域・0才児健診

**インフルエンザと
かぜの違い**

インフルエンザ		かぜ
インフルエンザウイルス	原因	細菌、ウイルス
冬から春に多い	時期	一年を通して
全身症状	発症の始まり	鼻水、くしゃみ
39～40℃	熱	37～38℃くらい
大流行すること	伝染	多くの人にうつらない
手足や腰に強く出る	関節痛	ほとんどない
肺炎、気管支炎、インフルエンザ脳症 など	合併症	安静を守ればほとんどない

インフルエンザは、発症し5日を過ぎて、かつ、熱が下がってから3日を過ぎるまでは、園はお休みします